

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(平成30年4月～6月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 4月14日午後5時30分頃、サン・ペドロ県サンタニ市の路上で、会社員の男性数名が車に乗り込もうとしたところ、オートバイ2台で接近してきた4人組の武装犯に散弾銃などで脅迫され、所持していた携帯電話、ノートパソコン及び現金100万グアラニー(約180米ドル)が盗まれる事件が発生した。
- ・ 4月16日の午前9時頃、イタプア県カンブレタ市の市役所の駐車場で、同市役所の女性職員と運転手が車に乗り込もうとしたところ、オートバイで接近してきた2人組の男に拳銃で脅迫され持っていた現金2,500万グアラニー(約4,500米ドル)を盗まれる事件が発生した。強奪された現金は市役所の収入金であったとの事である。
- ・ 4月30日、セントラル県サン・ロレンソ市バルセキリョ地区の路上で16歳の女の子がオートバイで接近して来た2人組の男に発砲を受け携帯電話を盗まれる事件が発生した。被害者は腰部分に銃弾を被弾し重傷を負った。警察署は被害者が犯人に抵抗したため発砲を受けたと報告している。

- ・ 5月15日の深夜、セントラル県フェルナンド・デ・ラ・モラ市の路上に駐車してあった車の窓ガラスが割られ、現金21,000米ドルと5,000万グアラニーが盗まれる事件が発生した。警察署の調べで容疑者と思われる20歳の男2人が逮捕され、所持品から盗んだ現金の一部1,680米ドルと約1,129万グアラニーが発見された。
- ・ 6月17日の午後8時10分頃、アスンシオン市サン・パブロ地区にある商店に、2人組の男が店内に侵入し、拳銃で店員を脅迫すると売上金100万グアラニーを奪いオートバイで逃走した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 6月27日、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市の住宅で、18歳の少女と15歳の少年が武装犯に連れ去られ、現在も行方が分からなくなっていると警察署に通報された。警察署の情報によると、少女の友人が、2名が連れ去れた直後に、被害者の少女から電話受け、近くのガソリンスタンド店に向かえて来てくれと呼び出されるが、不審に思い現場に行かなかったと警察官に説明したとの事。警察署は、被害者の少女が麻薬密売などに関与している人物らと接触がある事から、麻薬絡みのトラブルが原因とみて捜査している。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

- ・ 5月末、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市で、邦人がオートバイで接近してきた男から所持品を強奪される事件が発生した。犯人は拳銃を所持していた模様だったが、抵抗をしなかったため軽傷で済んだ。